

様式第 1 号

会 議 録

会議の名称		第 10 回つくば市未来構想等審議会		
開催日時		令和 2 年 1 月 29 日 開会 13 : 00 閉会 15 : 00		
開催場所		つくば市役所 庁議室		
事務局 (担当課)		政策イノベーション部企画経営課		
出席者	委員	神谷大蔵、山本美和、大澤義明、松田隼吾、市川一隆、小玉喜三郎、宇津野茂樹、山海嘉之、望月義人、後藤真紀、中井聖、小原正彦、中嶋信美、永井悦子、西美佳、林亮、山口圭一、飯野哲雄、毛塚幹人、森田充 計 20 名		
	その他			
	事務局	森政策イノベーション部長、片野政策イノベーション部次長、大越企画経営課長、他課員 5 名		
公開・非公開の別		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	1 名
非公開の場合はその理由				
会議次第	【第 10 回つくば市未来構想等審議会】			
	1	開会		
	2	報告 (1) 第 9 回審議会の開催報告		
	3	議事 (1) パブリックコメント手続の実施結果と対応方針について (2) 未来構想及び戦略プランの答申について		
4	閉会			
審議内容				
1 開会		片野次長： 只今より第 10 回つくば市未来構想等審議会を開会いたします。私は、つくば市政策イノベーション部次長の片野でございます。よろしくお願ひいたします。本日は、ただいまの時点で 19 名の委員の方に御参加いただいております。会議開催要件の過半数を満たしていることを御報告いたします。ここで、議題に入る前に委員の交代がありましたので御紹介いたします。昨年 12 月に教育長の交代がございました。門脇前教育長に代わりまして、つくば市教育長 森田充 が新たに委員を務めさせていただきます		

ます。以上、1名の交代がございます。委嘱状につきましては、時間の都合上、既にお手元に配布させていただいております。よろしくお願いいたします。

2 報告

片野次長：それでは議題に入りますが、ここからはつくば市未来構想等審議会条例に基づき、大澤会長に議長をお願いいたします。

会長：みなさまこんにちは。前回の審議会では主にパブリックコメントの実施に向けて、未来構想・戦略プランの案について御確認いただきました。先ほど、話がありましたが、パブコメでは非常に多くの意見をいただいたようです。本日は、意見への対応とその修正について、内容を御確認いただければと思います。また、後ほど事務局から説明があるかと思いますが、未来構想については、本日が最後の審議になります。戦略プランについては次回の11回を持って審議が終了の予定です。当審議会も終盤に差し掛かり、本日もこれまで同様、盛りだくさんの内容となっておりますが、円滑な進行に御協力いただければと思います。それでは、議題に入ります。さっそく、報告の一つ目、第9回審議会の開催報告について、事務局から説明をお願いします。

事務局：（報告1を用いて第9回審議会の開催報告について説明。）

会長：只今の内容について御質問等がありますでしょうか。

特にないようですので、続いて議事に入りたいと思います。

3 議事

(1) パブリックコメント手続の実施結果と対応方針について

事務局：（資料1を用いて、意見と対応方針の主なものを説明。）

（資料5を用いて、答申・完成に向けたスケジュールを説明）

会長：まずは資料3を確定させていきたいと思います。確定させることを急ぐわけではありません。当然皆さんの御意見を踏まえながら直していきたいと思っていますので、遠慮なく御意見、御質問いただきたいと思います。ただし、収束させるところだけは御協力いただければと思っています。

よろしいでしょうか。かなり議論はしてきたつもりですので、皆さんの

御理解をいただけている内容かと思えます。

委員：8ページの「ビックデータ」は「ビッグデータ」ではないでしょうか。

事務局：「ビッグデータ」の誤りでございますので、こちらは誤字を修正させていただきます。

委員：今は資料3ですが、資料4の修正点について見つかりましたらまた資料4の時にお伝えします。

会長：委員お願いします。

委員：未来構想が出る時には、この作りで本になるということですか。事実の分析が前段にあり、まちづくりの理念および目指すまちの姿というこれから私たちが目指していく内容に到達し、後ろに推計等人口の裏付けとなる資料が続くと思いますが、この作りがわかりにくく、どこまで読むと目標が出てくるのだらうと思えます。もう少しわかりやすい形で、何か方法はありますか。

会長：事務局お願いします。

事務局：御指摘のように、なかなか理念までたどり着かず、何故そのような理念にたどり着いたか、という説明にページを割いているというところは、我々としても認識しております。今回、本編という形で作っておりますが、普及版という形で一般の方にもっと読みやすいもの、簡潔に読んでいただけるものを作成し、興味を持ったら本編を見ていただくという作りをしたいと考えています。普及版では、結論から先に「このようなまちを目指しています」ということをお示しし、気になる方は本編を見ていただくという形で使っていただきたいと思います。また、行政・市役所内の方たちはしっかり本編を見ていただき、冊子により役割分担、使い分けをしていただくことで一般の方がより見やすいものをあわせて作っていきたいと考えています。

委員：お願いします。

会長：私も同じことを思っていました。今はスピードが求められる世知辛い社会のため、事務局から説明があったように、結論を頭に持つてくることは大事であると思えます。

他はいかがでしょうか。

委員：今更ではございますが、参考までにお聞きかせください。未来構想の4ページ、目次を見ますと1章が目的、2章が社会情勢、3章が地域特性

となり、その中に3-3にSDGsの取り組みと施策というのが出てきます。この13ページの内容について、前回の意見にもありましたように、今回は目的を非常に明確にした上で、SDGsが肝になるわけですが、その位置付けをここに置くのがいいのか、2章に置いてもいいのかと思いました。13ページの3については、実際は社会情勢、SDGsが世界中で取り組んでいる背景の中で、つくば市の施策との関係を、事務事業数で表現しています。その次に強みと弱みの内容を記載するという意味で、比較的進んでいる分野と比較的遅れている分野を挙げているのだという認識です。地域の強み・弱みの中という意味で書かれているようであればよいのですが、読むときに、つくば市あるいは地域の強み・弱みという位置づけでこの第3章は書かれているという認識でよいのか、解説をいただけるとありがたいです。

事務局：今委員が後半でおっしゃったように、第2章においては、社会情勢として世界や日本の潮流という形で、9ページの(8)で自治体の持続可能性、SDGsの取り組みとして社会的な動向を取り上げつつ、第3章地域特性においては、強みや弱みという形で従来のものに加え、SDGsの観点で見るとどういった強み弱みがあるか分析を行ったものとして整理しています。

会長：時間的な制約もありますが、委員がおっしゃったことも理解できますし、章の数が多いような気がするので、第2章、第3章は一緒にしてしまっても座りが良いように思えます。

参考にさせていただければと思います。他どうでしょうか。

委員：先ほど普及版を別途作られるということでしたが、普及版の方がこのあと作られるのだと思いますが、それを審議会で見せていただける予定があるのかどうかお伺いします。

事務局：3月6日に第11回を開催させていただきたいと思っていますので、そちらで全体的なデザインや普及版の内容についても御確認いただきたいと考えています。

会長：では次回それを受けて変更できる余地があるということですね。

事務局：はい。

会長：他どうでしょうか。委員お願いします。

委員：今お話があった概要版についてですが、概要版のようなものは目を惹

くようなカラフルな作りになっていることが多いと思いますが、色を使うとなると色覚とかに障害を抱えている方たちにはかなり見づらいものになってしまうことがあるので、できればこういった御意見を取り入れながらカラフルで見てわくわくするような作りでありつつも、だれも見やすいものを目指して作っていただきたいと思います。

会長：ありがとうございます。事務局お願いします。

事務局：御指摘を受けて、その点も配慮していきたいと思います。

会長：望月委員さんお願いします。

委員：また重箱の隅をつつくようなことで申し訳ないのですが、15 ページの真ん中あたり、「つくば市の未来の明るさ」について、「アンケート調査」という言葉は意味が重なっておりますので、フランス語でアンケートは調査を意味するため、「調査」を抜いていただければと思います。メディアも全部「アンケート調査」という言葉を使っておりませんので、よろしくお願いします。

事務局：調査を抜きたいと思います。

会長：いかがでしょうか。それでは未来構想に関しては今いただいた意見をもとに修正させていただければと思います。修正方法に関しては事務局と私の方に一任いただければと思いますがよろしいでしょうか。ありがとうございます。それでは話題を戦略プランに移したいと思います。

(2) 未来構想及び戦略プランの答申について

事務局：（資料2を用いて説明。）

会長：先ほど話題がありましたがあわせて御質問、御意見をいただければと思います。

委員：パブリックコメントの29番、30ページ、「ハブアンドスポーク型都市構造に向けて」の関連で、中心市街地に就労場所を作っていただきたいとか、進出する企業や移り住む住民の視点を取り入れて、実現に向けて取り組んでいただきたいということで、プランそのものにこう書き直すべしという意見ではないのですが、趣旨としてそういう意見が出ています。

関連して、同じ資料の18ページに全く同じ意見がでています。これは先ほど一任になった未来構想でも同じ話が出ていて、行政側の回答として、「中心市街地の活性化は非常に大切なので具体的には個別施策・個別

計画できちんとやっていくので施策の参考にさせていただきます」となっていると思います。例えば個別計画という形でいえば、今日は資料がありませんが、つくばの中心市街地まちづくりビジョンという形でイノベーションが起きるクリエイティブスペースだとか、スタジオの拠点、充実したオフィス環境みたいなことが書かれていて、今の個別施策の方、戦略プランの該当するところでいうと、29 ページ、「魅力ある研究学園都市地区の推進」、こういうところがいわゆる中心市街地をとらえている場所なのかと。ここで並んでいるプロジェクトについては、「魅力ある研究学園都市地区の推進」の中で「科学技術を取り入れたまちづくり」、「緑豊かなまち並み」、それから「パブリックスペースの活用」の3点になっていて、イノベーション拠点の創出のところで表現されていると思うのですが、それが産業的な観点で少し弱い印象があると思っています。全体的にイノベーションによるビジネスの創出などの観点は70 ページから75 ページあたり、「科学技術の知識集約によってイノベーションを創出する」ところから始まっていくということになっています。中心市街地という観点では、イノベーションがビジネスにつながっていくという視点が弱いと感じているところですよ。

先ほど一任になった未来構想の中でも中心市街地や研究学園都市地域については、生活する方々の豊かな環境であると同時に業務機能の集積も図っていくということも挙げられていて、バランスとしては戦略プランの方は偏りが少しあるのかと思っています。イノベーション拠点の創出、プロジェクト①の概要のところにもう少し、前回の意見でかなり似ている話が9 ページに新しく入りましたが、北本委員の「ビジネスや研究等の様々な知識や経験を持った人達が気軽に集える場所や機会を設けることで、新たな挑戦やイノベーションを生み出す」というところを少し表現として使って、イノベーション拠点の創出と表現してもらえると、もう少しパブコメを出してきた方が感じているようなビジネスや企業の視点や外から入ってくる人の視点がもう少し分かりやすく入るのかと思いました。具体的な表現については、事務的に考えないといけないと思いますが、今日追加されたような9 ページのような表現がちょうどいいのかと私は思いました。そういうところも少し考えられないかというのが私の意見です。

会長：事務局お願いします。

委員：御指摘ありがとうございます。今のパブコメの回答は軽い表現ですので、修正をさせていただくとともに、例えば戦略プラン 75 ページ産業振

委員：繰り返し出てこないのであれば、わざわざ使う必要はないと思います。

会長：委員をお願いします。

委員：MDG s の後継としてSDG s の考え方がでてきたというのを示さなければいけなければ書かないといけませんが、私たちが一番わかりやすいのは、一般的になっているSDG s なので、MDG s は省いてよいと思います。

会長：それではだいたい意見としてはこの部分を削除の方向でよいと思います。修正ということによろしいでしょうか。

委員：SDG s はどこも言われるようになり、未来構想を始めた時以上に一般的になってきたので、パブリックコメントを見てもそうなのですが、SDG s があって私たちがこれを作ったと理解する方が理解しやすいという感じがあります。私たちが作り始めた時はSDG s もありましたが、私たちのまちが10年20年経ってこうありたいというところからやって、それを裏付ける方法としてSDG s は、しっかりはまっているという、ちょっと順番が違いますが、結果として出てくるとSDG s ありきと理解されるのかと思いました。

会長：事務局をお願いします。

事務局：委員がおっしゃったように、未来構想を改定するきっかけとしてはあったのですが、それありきで進めてきたわけではないというのはもちろんございます。SDG s を基本に置きつつもどうすればつくば市がもっと良くなるかという内容で御議論いただいた上で、最終的にまちづくりの理念や目指すまちの姿を決めていったという経緯がございますので、事務局としてもSDG s を全面的に取り入れて作ったという表現をしたくなく、少なめに書いてきたというところはありません。ただ、パブリックコメントでも、もう少し出した方がいいという意見がありましたので、バランスを考え、委員がおっしゃるように、それありきでそれに沿って進めてきたわけではないということはこの文章として表現したいと考えています。

会長：委員いかがでしょうか。

委員：だから中途半端でわかりにくい表現になっているのではないかと思います。他の委員はどう思いますか。3本柱、4本柱の部分で私達議論をやったのですが、いかがでしょう。

委員：すごく難しいですが、普及版で3本柱をきちんと打ち出してもらおうこ

とで伝わると思います。SDGsありきではないと、普及版でまとめていただければと思います。未来構想の背景の部分が全くないのもそれはそれで違和感のある話ですし、この程度であれば、それも背景の一つであるのも否定できないので、現状でよろしいのかと思いました。

会長：それでは議論をし尽くしたと思いますので、戦略プランに関しては御理解いただいたということで、次回最終的までにフィックスしたいと思えます。それでは今日の議事は全て終了となります。未来構想は今回の確認、御意見をもとに修正して、答申したいと思えます。その他事務局からスケジュール等お願いします。

(3) その他

事務局：それでは事務局より今後の予定について御説明させていただきます。議事の中で資料5を使い御説明させていただいたとおり、本審議会終了後、本日の御審議いただいた結果等を踏まえ未来構想の部分の答申を大澤会長に行っていただく予定です。会長におかれましては、こちらの方で修正後の反映等準備をさせていただいた後、別室に御案内させていただきますので、本日の審議会終了後お残りいただきてよろしく申し上げます。次回第11回審議会においては3月6日の10時から開催する予定でございます。戦略プランの答申について御確認いただく予定です。その後、3月17日に戦略プランの答申の方を行わせていただく予定となっております。こちらについては先ほどの御説明の通り、また後日皆様御案内をさせていただきますと思います。よろしく申し上げます。スケジュールの御案内については以上です。

会長：それでは他に御意見等ございますか。

委員：まとめの段階なのでこれでいいと思いますが、資料3「持続可能都市を目指してつくばの未来構想というものをつくりあげた」という文言については、持続可能都市というものの意味はかなりいろんなものを持っているので、原始の世界の中で細々と生きていけば社会は持続できたりすることもあるでしょう。どういう社会を実現するときとそれと両立できるような持続可能な社会にできるかどうかのポイントだと思いますが、難しい話なのでいいかと思いますが、あえてお話させていただきました。

会長：事務局からお願いします。

事務局：委員がおっしゃったように持続可能都市はいろいろな要素があると認

識していますが、そこは変わらず、環境などの要素を踏まえながら、つくば市が持続可能な将来にわたり発展が続いていけるようにという意味で、これについてはこの様な表記で変わらないと考えています。

会長：私自身持続可能という言葉を使い勝手がいいので結構使ってしまいましたが、委員がおっしゃるように中々突き詰めると難しい問題があると認識しています。他よろしいでしょうか。それでは未来構想の内容がフィックスされましたので、いったんの節目ですので、副会長からお話をお願いします。

委員：長時間にわたりお疲れ様でございました。10回の審議会を経てここに至ったわけですが、この審議会に御参加いただいている皆様方の意欲がすごく、これを取り仕切る会長も合意形成を図るのは本当に大変なことだったと思います。しかしながらおかげさまを持ちまして、3月議会定例会にて決定するため、われわれも未来に移行する5年間の取り組みということで、地域社会に直面する課題を克服しながら持続可能な都市を目指すということで行っていきたいと思います。今議会では皆様方御承知の方いらっしゃると思いますが、中心市街地であるとか未利用地があるとか、今まで議会もどちらかというところマルかバツか是が非かというところがあったのですが、議員間の中でも合意形成を図るということで常々毎週のように顔を合わせながら、少しずつ皆さんの御意見を取りまとめて、合意をはかるのは本当に大変なのだと思いつくづく思い、そんな中、最上位の方針が作成されるということに本当にありがたく思う次第でございます。戦略プランの取り組みについては、職員のワーキングチーム、未来像の策定についてKPIの策定、個別施策と主要プロジェクトの策定、戦略プランの作りこみ等、本当に長きにわたりお疲れ様でございました。まだまだ終わったわけではございませんが、引き続き皆さんの御尽力をいただき、議会としても引き続きがんばっていく所存ですので、この会議についてはお疲れ様でございました。色々お世話になりありがとうございます。

会長：ありがとうございます。それでは事務局にお返しします。

事務局：委員の皆様におかれましては長時間にわたり御議論いただき大変ありがとうございます。以上を持ちまして本日の第10回つくば市未来構想等審議会を閉会します。大変お疲れ様でした。